

トークサロン

「高校生レストランの奇跡」

― まちの宝の見つけ方と磨き方 ―

臨時研究員 徳永 真菜美



舞たうん113号(特集)自分たちの地域を大切に、高校生パワー全開!」で、高校生の可能性を目の当たりにしました。皆さんにもっと高校生の活動を知ってもらおう場を作りたいと思い、平成25年1月19日(土)にトークサロン「高校生レストランの奇跡」―まちの宝の見つけ方と磨き方―を開催しました。定員を超えて150人もの方々に参加していただきましたが、参加者、特に高校生にとっては心が動く会となったようです。

「質問をして、挑戦してください。」

高校生レストランの奇跡

トークサロンの序章で、岸川さんはこのような言葉を高校生に向けました。「会の最後に質問をします。夢を実現するためには、いまこの瞬間から変わること。挑戦してみてください。」高校生の耳がグツと立ちました。岸川さんの情熱的な話を聞いた高校生は、なにを感じたのでしょうか。



全国唯一の高校生レストラン「まごの店」は、多気町を変えました。まごの店では、メニュー開発をはじめ、調理、注文取りとすべて高校生が切り盛りしています。指導をする相可高校調理クラブ顧問の村林新吾先生は、実際のお客さんを相手にするため、高校生たちを厳しく指導しています。プロ顔負けの腕前と地元の食材にこだわったメニューを提供しているため、レストランはいつも満席で、1日250食のランチは売れ残ったことはありません。高校生レストランは、2005年2月に多気町と三重県が約9000万円の予算で建設されました。これだけの額をかけて、成功へと導いた仕掛け人が岸川さんです。地元の農産物に光を当てたかった岸川

さんが出会ったのが、村林先生とその生徒たち。先生は、高校生たちにもっと現場感を持って調理をして欲しいという思いがありました。生徒たちは、調理師になるという夢を持って妥協をせず、一緒懸命勉強していました。岸川さんは、先生と生徒たちの情熱に瞬時に惚れ、「まごの店」のオーブンを決意しました。その後、紆余曲折を経ながらも、彼らの情熱が着々と広がっていったのです。高校生レストランができたことで、地元の人た



【講演】

三重県多気郡多気町 まちの宝創造特命監 岸川政之氏

【パネルトーク】

コーディネーター

若松進一氏 (人間牧場主・年輪塾々長)

コメンテーター

岸川政之氏

活動報告

- 伊予農業高校希少植物群保全プロジェクトチーム (地域の環境保全活動) 橋梅和音さん
- 東温高校商業科 (企業と連携した東温せつけん開発) 谷口藍さん
- 長浜高校水族館部 (長高水族館運営) 苅田祐喜さん

ちが活き活きしました。地元の人が高校生を応援し、頑張る高校生に地元の人元気をもらおう。町のなかで、元気な相乗効果ができました。

また、生徒たちの夢が実現へとつながり始めました。「地元食材を使って、町を盛り上げたい」と思う卒業生たちが、「せんばいの店」をはじめたのです。多気町では、まちの宝が増え、人が輝きました。

愛媛の高校生パワー



愛媛からは伊予農業高校（地域の環境保全活動）橋梅和音さん、東温高校（企業と連携した東温せっけん開発）谷口藍さん、長浜高校（長高水族館運営）荻田祐喜さんが代表して自分たちの高校生活で情熱を注いだ活動を伝えてくれました。

活動を通して、彼らは自分の高校や地域に対して少しずつですが、自信と誇りを持つようになりしました。先生の怒るも褒めるも一所懸命付き合ってくれる姿や、地域の人が持つ地元愛などに触れながら、彼らは成長していったのです。そして、水族館の職員になりたい、接客業をしたい、教員になりたいと夢をも語ってくれました。彼らが成功した秘訣をコーディネーター



の若松さんが教えてくださいました。それは、「地域の特徴を活かし、地域とつながりをもって、生徒自身が輝いたこと」です。彼らは地元之宝にきちんと目を向けていたのです。また、学校の先生が傍で高校生のパワーを主体的に活かせるよう後押しをし、地域の人々は彼らの一番の応援団となりました。高校生は地域に根付いて活動し、地域で頑張ることにやりがいを見つけ、将来どうしていきたいかと考えるようになりました。岸川さんからも「すばらしい！」の声をいただきました。

岸川さんのまわりに 高校生の輪ができた

さて、岸川さんの話に感動した高校生が、トークサロンの後半で行動に移し始めました。質問タイムで、バツと手を挙げる生徒が出てきたのです。「私たちにもできることがある。今から始めよう！」アンケート結果にも、「質問の時間が足りなかった」という高校生が何人かいて、挑戦することに臆していませんでした。また、会が終了した後も、高校生から岸川さんに近づいていき、質問をし始めました。岸川さんのまわりに高校生の輪ができたのです。この日参加してくれた高校生は、少しの変化を持つて帰りました。



ここでも、小さな奇跡が起きました。彼らの未来が大変楽しみます。
大人が試されているとき

今回の会で気付いたことは、高校生の活躍も「地域の関わりなしには、成功できなかった」ことです。一所懸命頑張っている高校生を、地域の人たちは「真剣」に支えていました。

多気町でも、愛媛の高校生の活動でも、回りの人々はその姿勢が見られました。高校生はもとより、地域の人たちが一緒になって「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という姿勢が大切です。参加された皆さんは、岸川さん、若松さん、そして高校生からも大きなことを学んだのではないのでしょうか。